［制限事項］（必ずお読み下さい）

１．データの座標形式

投影されていない地理座標（度単位の緯度経度）データを基本にしています。
平面直角座標系と UTM 座標系のシェープファイルについては、読み込み時に緯度経度に変換しています。

２．データの座標参照系（測地系）

世界測地系（日本測地系 2011）をもとにした座標を想定しています。

３．画像の位置合わせ

位置合せをする画像が CD-ROM にある場合は、【画像位置合せ】による簡易標定の結果を保存することができませんので、ローカルディスクに移してお使い下さい。

４．データとメモリの関係

メモリに全てのデータを取り込んで処理します。**できるだけ大量のメモリーを搭載することをお勧めします。**
PC の搭載メモリの量が少ない場合は、必要最小限のデータを読み込むようにする必要があります。一度に大量のデータを読み込むことは避けてください。
使用するパーソナルコンピュータで処理できる読み込み量を試しながらお使いください。必要に応じデータを分けて読み込ませ、不要なデータは読み込まないようにしてください。

５．地図太郎での面積・距離

距離は測地線航海算法で算出しています。面積はＵＴＭ座標に変換して算出しています（経度差６度未満で、北緯８４度から南緯８０度に含まれる図形）。日本国内であれば、距離・面積ともに平面直角座標系に変換し算出することもできます。

６．地図表示

Web Mercator 投影法での表示を標準としています。通常はそのまま使用します。ただし、広範囲（2 次メッシュ 1 つより広い）の地図画像データを背景にする場合、地図投影法が異なると、南北の比率が異なるため、画面上で実際の位置よりずれが生じることがあります。正規化された画像やメルカトル図法以外の画像を表示して、位置がずれる場合は、ファイルメニューの【環境設定】で、「Web Mercator 投影法で表示する」のチェックをはずしてください。
Web Mercator 投影法で表示しない場合、画面縮尺が 1000 万分の 1 より小さくなると、地理院地図等のタイル地図は表示されません。

７．文字コード

文字コードは、Shift_JIS コードのみに対応しています。

不明な点がありましたら、当社あてメール（tarosupport@tcg.co.jp）にてご連絡下さい。

ご質問の際、必ずユーザＩＤをご記入下さい。